

2010年12月1日

社員による社会貢献基金「フライングスター基金」 15周年記念寄付

アステラス製薬株式会社（社長：野木森雅郁、以下「アステラス製薬」）は、社員による社会貢献基金である「フライングスター基金」の発足15周年を記念して、小児科病棟でのボランティア活動を行う下記3団体への寄付を行いましたので、お知らせします。いずれも、病棟で闘病生活を送る子供たちの笑顔につながることを期待される活動であり、病気と闘う勇気を患者さんに届けたいと願うアステラス社員の思いと合致します。

発足15周年記念寄付 概要

1. ホスピタルキャラバンに使用するおもちゃボックスの寄贈

世界のおもちゃを詰め込んだ専用ボックス（3箱）が全国の小児病棟を巡回します。病棟の子供たちが、遊ぶことで少しでも病気の苦痛や緊張を忘れ、毎日の入院生活が楽しく豊かなものになるように、という願いを込めて、医師の指示のもと、このおもちゃが子供たちの症状緩和に活用されます。

<寄贈先>

NPO 法人「日本グッド・トイ委員会」（東京都）

<上記団体により選定された訪問施設>

国立成育医療研究センター（東京都）ほか

2. 小児病棟でのクラウン（道化師）の活動支援

闘病生活を送る子供の病室を定期的に訪問するクラウンは、遊びやコミュニケーションを通して子供たちの成長をサポートし、笑顔を育むスペシャリストです。病気の治療のために様々な制限を余儀なくされる子供たちが思い切り笑い、主体的に遊ぶことのできる環境づくりのお手伝いをします。

<寄贈先>

NPO 法人「日本クリニックラウン協会」（大阪府）

<上記団体により選定された訪問施設>

- ・群馬県立こども病院（群馬県）
- ・富山大学附属病院（富山県）

<寄贈先>

NPO 法人「日本ホスピタル・クラウン協会」（愛知県）

<上記団体により選定された訪問施設>

- ・都立広尾病院（東京都）
- ・都立墨東病院（東京都）
- ・金沢医科大学病院（石川県）

フライングスター基金は、ささやかでも継続できる社会貢献活動を目的に、社員が中心となって1996年9月に発足した基金です。同基金への参加は社員の自由意思に委ね

られていますが、現在、国内アステラスグループ社員約 5,300 名が参加しています。加入者は毎月の給与より 100 円を基金に積み立て、それに会社が同額を拠出したものを原資として年 1 回の寄付を実施する仕組みになっています。本基金の名称に使われている「フライングスター」とは、未来に向かって進む美しく輝く星を表すアステラス製薬のコーポレートシンボルの名称です。

以上



写真提供：NPO 法人 日本グッド・トイ委員会



写真提供：NPO 法人 日本クリニックラウン協会



写真提供：NPO 法人 日本ホスピタル・クラウン協会